

# 薬剤部からのお知らせ 2019 No.11



2019年4月19日 発行

## 「献血ヴェノグロブリンIH10%静注」の供給不足に伴う2.5g製剤の仮採用について

『薬剤部からのお知らせNo.10』でお伝えしましたように、グロブリン製剤「献血ヴェノグロブリンIH10%静注」について、5g製剤が供給不足となっております。これに伴い、当院の在庫状況も悪化してきておりますので、別規格の2.5g製剤を仮採用することと致します。

- 現在の供給状況：5g製剤は当面新規供給なし
- 当院の在庫状況：現在50本程度（当院の1ヶ月使用量は60本程度）

**2019年4月24日(水)**より、5g製剤について継続患者さんを除いて新規オーダーを停止するとともに、2.5g製剤のオーダーを可能とします。

献血ヴェノグロブリンIH10%静注 5g ⇒供給制限(当面新規供給なし) ⇒新規オーダー一時停止	献血ヴェノグロブリンIH10%静注 2.5g ⇒オーダー開始(仮採用)
	

- 当院における他のグロブリン製剤

献血グロベニン-I静注用5000mg	献血ベニロン-I静注用2500mg
	

供給は不安定な状況が続いています。適応症が薬剤によって異なるため、困難な場合もあるかと思いますが、可能な場合には他剤に変更していただきますようお願いいたします。引き続き他剤への変更を提案させていただくこともありますので、よろしくお願い致します。

○ 各グロブリン製剤の適応症（※ピンク背景は献血ヴェノグロブリンIH10%静注のみ）

	献血ヴェノグロブリンIH10%静注	献血グロベニン-I静注用	献血ベニロン-I静注用
低又は無ガンマグロブリン血症	○	○	○
重症感染症における抗生物質との併用	○	○	○
特発性血小板減少症紫斑病	○	○	○
川崎病の急性期	○	○	○
多発性筋炎・皮膚筋炎の筋力の低下改善	○		
慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の筋力低下の改善	○	○	
慢性炎症性脱髄性多発根神経炎の進行抑制	○	○	
全身型重症筋無力症	○		
天疱瘡	○	○	
水疱性類天疱瘡	○	○	
ギラン・バレー症候群	○	○	○
IgG2値低下を伴う、反復する急性中耳炎等	○		
好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における神経障害の改善			○
スティーブンス・ジョンソン症候群及び中毒性表皮壊死症		○	

不明な点につきましては、薬剤部・医薬品情報管理室(内線 7083)までご連絡下さい。

(文責：小林)